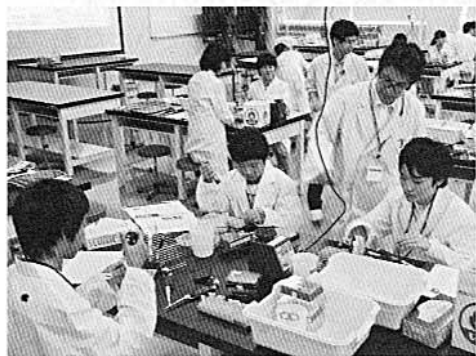


ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ～

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～が、8月27日（土）午前10時より、校舎棟M-610多目的実習室を中心に開催された。

「ひらめき☆ときめきサイエ

ンス」とは、日本学術振興会が行うプログラムの一つで、この度は中学生を対象に「遺伝病治療に役立つための基礎医学研究」のタイトルで、生化学教室が実施した。なお、このプログラムに川崎医科大学が参加するのは初めてである。



当日は24名の中学生が参加し、講義では「細胞とは何か」、「細胞の

中には何があるのか」など、基本的な内容を勉強するところからスタートした。

その後の実験では講義で学んだことを踏まえ、本物の実験器具や研究機器を使用して、細胞からDNAを取り出して目的遺伝子を可視化することに取り組み、その重要性を学んだ。

また、講義と実験の合間には、キャンパスツアーとして現代医学教育博物館を見学し、癌関連の展示から、

遺伝子の異常のみならず環境の変化

でも癌化する（遺伝子に修復不能な傷ができる）といった内容を学んだ。

質問・討論の時間には手を挙げるなど、参加者は終始積極的に取り組んでいた。最後に、参加者へ「未来博士号」が授与され、全員で記念撮影を行った後、閉会となった。（庶務課）

